



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年8月2日  
上場取引所 東

上場会社名 エーザイ株式会社  
コード番号 4523 URL <https://www.eisai.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表執行役CEO (氏名) 内藤 晴夫  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役 コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 佐々木 小夜子 TEL 03-3817-5120  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	189,029	△4.0	13,407	△48.5	15,969	△43.5	11,510	△44.9	10,581	△48.0	52,625	△23.1
2024年3月期第1四半期	196,935	6.9	26,027	250.1	28,285	191.0	20,901	△25.3	20,339	△24.4	68,423	△14.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	36.95	—
2024年3月期第1四半期	70.92	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	1,420,247	919,696	895,766	63.1	3,137.28
2024年3月期	1,393,799	898,975	875,614	62.8	3,052.99

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	80.00	—	80.00	160.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	80.00	—	80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	754,000	1.7	53,500	0.2	60,000	△2.9	44,500	1.6	43,000	1.4	152.50

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年5月15日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2025年3月期の連結業績予想における「基本的1株当たり当期利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	296,566,949株	2024年3月期	296,566,949株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	10,813,936株	2024年3月期	9,531,401株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	286,347,412株	2024年3月期1Q	286,795,349株

信託として保有する当社株式230,257株は、期末自己株式数に含めていませんが、期中平均株式数には、基本的1株当たり四半期利益の算定において控除する自己株式として含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本発表において提供される資料ならびに情報は、本資料発表日時点における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。予想数値、予想の前提条件その他に関する事項については、6ページをご参照ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信に添付しています。また、2024年8月2日(金)に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料等については、当社コーポレートサイトに掲載します。

## 【添付資料】

## 添付資料の目次

	(ページ)
1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 研究開発・提携などに関する説明	4
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結損益計算書	7
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報)	15
(連結損益計算書)	16
(重要な後発事象)	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## [売上収益、利益の状況]

- 当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)の連結業績は、次のとおりです。

(単位:億円、%)

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	前年同期比
売上収益	1,969	1,890	96.0
売上原価	439	398	90.5
売上総利益	1,530	1,493	97.6
販売費及び一般管理費	861	995	115.6
研究開発費	411	417	101.4
その他の収益	6	55	861.9
営業利益	260	134	51.5
税引前四半期利益	283	160	56.5
四半期利益	209	115	55.1
親会社の所有者に帰属する四半期利益	203	106	52.0

- 売上収益は、抗がん剤「レンビマ」、不眠症治療剤「デエビゴ」およびアルツハイマー病(AD)治療剤「レケンビ」が引き続き伸長した一方で、前年同期に選択的エストロゲン受容体分解薬elacestrantに係る経済的収益受領権の譲渡に伴う一時金を受領した影響により、減収となりました。医薬品事業の売上収益は1,866億円(前年同期比102.7%)となりました。
- 主要品目の売上収益は、「レンビマ」が835億円(前年同期比118.1%)、「デエビゴ」が121億円(同129.0%)、抗てんかん剤「フィコンパ」が74億円(同91.1%)、「レケンビ」が63億円(前年同期は1億円)となりました。
- 販売費及び一般管理費は、「レケンビ」に係る販売費の増加や「レンビマ」の売上拡大に伴うMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA(以下 米メルク社)への折半利益の支払いが増加したことに加え、円安の進行の影響により、増加となりました。
- 研究開発費は、パートナーシップモデルの活用により効率性を高めた一方で、「レケンビ」などの重要プロジェクトへの積極的な資源投入や円安の進行の影響により、増加となりました。
- その他の収益は、抗体薬物複合体farletuzumab ecteribulinに関するBristol Myers Squibb(米国、以下 BMS社)との戦略的提携契約の終結に伴い、提携契約締結時にBMS社から受領した預り金の取崩益48億円を計上したことにより、増加となりました。
- 以上の結果、営業利益は減益となり、医薬品事業のセグメント利益は912億円(前年同期比102.3%)となりました。

## [セグメントの状況]

(各セグメントの売上収益は外部顧客に対するものです)

当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス(北米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)、アジア・ラテンアメリカ(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米等)の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。なお、当連結会計年度より、経営の実態をより適切に表示するため、従来、研究開発費に含めていた各報告セグメントにおけるメディカル活動に伴う費用を各セグメントの利益に反映しています。前連結会計年度のセグメント情報は、当該変更を反映しています。

#### <日本医薬品事業>

- 売上収益は528億円(前年同期比81.9%)、セグメント利益は191億円(同85.6%)となりました。売上収益の主な内訳は、医療用医薬品が475億円(同80.8%)、一般用医薬品等が53億円(同93.1%)でした。2023年6月に、ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体「ヒュミラ」の共同販促契約が満了となった影響などにより、減収減益となりました。
- 品目別売上収益については、ニューロロジー領域で、「デエビゴ」が102億円(前年同期比125.0%)と大幅に伸長し、「フィコンパ」は19億円(同107.0%)と伸長しました。2023年12月に新発売した「レケンビ」は15億円となりました。オンコロジー領域では、「レンビマ」は34億円(同82.2%)、抗がん剤「ハラヴェン」は19億円(同88.4%)となりました。ヤヌスキナーゼ阻害剤「ジセレカ」は35億円(同116.7%)、慢性便秘症治療剤「グーフイス」は20億円(同111.9%)と大幅に伸長しました。一般用医薬品等では、チョコラBBグループの売上収益が35億円(同94.4%)となりました。
- 2024年4月、「フィコンパ」について、注射剤を新発売しました。

#### <アメリカス医薬品事業>

- 売上収益は698億円(前年同期比128.4%)、セグメント利益は412億円(同121.5%)となりました。
- 品目別売上収益については、ニューロロジー領域で、「レケンビ」が46億円(前年同期は1億円)、「デエビゴ」が15億円(前年同期比141.1%)と大幅に伸長しました。オンコロジー領域では、「レンビマ」が598億円(同124.2%)と大幅に伸長し、「ハラヴェン」は27億円(同92.3%)となりました。

#### <中国医薬品事業>

- 売上収益は302億円(前年同期比95.6%)、セグメント利益は156億円(同84.3%)となりました。
- 品目別売上収益については、「レンビマ」が70億円(前年同期比101.8%)と伸長し、めまい・平衡障害治療剤「メスロン」は45億円(同120.8%)と大幅に伸長しました。末梢性神経障害治療剤「メチコバル」は30億円(同79.2%)となりました。
- 2024年6月、中国において、「レケンビ」を新発売しました。

#### <EMEA医薬品事業>

- 売上収益は195億円(前年同期比104.5%)、セグメント利益は88億円(同100.7%)となりました。
- 品目別売上収益については、ニューロロジー領域で、「フィコンパ」が40億円(前年同期比130.3%)と大幅に伸長しました。オンコロジー領域では、「レンビマ/Kispalyx」が101億円(同111.3%)と伸長し、「ハラヴェン」は24億円(同78.9%)となりました。

#### <アジア・ラテンアメリカ医薬品事業>

- 売上収益は143億円(前年同期比112.3%)、セグメント利益は65億円(同114.5%)となりました。
- 品目別売上収益については、「レンビマ」が33億円(前年同期比127.3%)と大幅に伸長しました。アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」は38億円(同118.4%)と伸長しました。
- 2024年5月、マレーシアにおいて、パーキンソン病治療剤「エクフィナ」を新発売しました。

### (2)財政状態に関する説明

#### [資産、負債および資本の状況]

- 資産合計は、1兆4,202億円(前期末より264億円増)となりました。円安の進行により海外連結子会社の資産が増加したことに加え、「レケンビ」等の生産を進めたことにより棚卸資産が増加しました。
- 負債合計は、5,006億円(前期末より57億円増)となりました。預り金の減少に伴いその他の金融負債が減少した一方で、短期借入金が増加しました。
- 資本合計は、9,197億円(前期末より207億円増)となりました。自己株式を取得した一方で、円安の進行に伴い在外営業活動体の換算差額が増加しました。

- 以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は63.1%(前期末より0.2ポイント増)となりました。

#### [キャッシュ・フローの状況]

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、86億円の支出(前年同期は126億円の収入)となりました。運転資本は、パートナー等に対する未払費用の支払いや「レケンビ」等についての棚卸資産の増加などにより増加となりました。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、36億円の収入(前年同期は116億円の支出)となりました。フランスにおいて、2024年3月に一部製品の販売権を譲渡したことによる一時金を受領しました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、119億円の支出(前年同期より36億円の支出減)となりました。主に自己株式の取得および配当金の支払いによるものです。
- 以上の結果、現金及び現金同等物の残高は3,039億円(前期末より7億円減)、営業活動によるキャッシュ・フローから資本的支出等を差し引いたフリー・キャッシュ・フローは50億円の支出となりました。

### (3) 研究開発・提携などに関する説明

#### [開発品の状況]

- 抗がん剤「レンビマ」(一般名:レンバチニブ、米メルク社との共同開発)
  - ・ 単剤療法として、甲状腺がんに係る適応および肝細胞がん(ファーストライン)に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジア等において承認を取得しています。
  - ・ 単剤療法として、切除不能な胸腺がんに係る適応で、日本において承認を取得しています。
  - ・ エベロリムスとの併用療法として、腎細胞がん(セカンドライン)に係る適応で、米国、欧州、アジア等において承認を取得しています。
  - ・ 米メルク社の抗PD-1抗体ペムブロリズマブとの併用療法として、腎細胞がん(ファーストライン)に係る適応、および子宮内膜がん(全身療法後)に係る適応で、日本、米国、欧州、アジア等において承認を取得しています。
  - ・ ペムブロリズマブとの併用療法について、肝細胞がん(ファーストライン、肝動脈化学塞栓療法との併用)、食道がん(ファーストライン、化学療法併用)、胃がん(ファーストライン、化学療法併用)を対象としたフェーズⅢ試験、ならびに頭頸部がん(セカンドライン)を対象としたフェーズⅡ試験が米国、欧州等において進行中です。
- AD治療剤「レケンビ」(一般名:レカネマブ、Biogen Inc.(米国)との共同開発)
  - ・ 早期ADに係る適応で、日本、米国、中国での承認に加え、2024年5月に韓国、7月に香港およびイスラエルにおいて承認を取得しました。欧州、カナダ、英国(北アイルランドを除く)、オーストラリア等において申請中です。
  - ・ 2024年5月、米国において、皮下注射(SC)製剤について、Fast Track 指定の下でSCオートインジェクターによる週一回維持投与に関する生物製剤承認申請の段階的申請を開始しました。
  - ・ 2024年6月、米国においては、静注維持投与(月一回投与)に関する生物製剤承認一部変更申請が受理されました。
  - ・ 2024年7月、欧州医薬品庁の医薬品委員会(CHMP)は、販売承認申請について否定的な見解を採択し、当社は本見解に対する再審議の請求プロセスを進めています。
  - ・ Alzheimer's Clinical Trials Consortium (ACTC) によって本剤が評価対象薬剤として選択されているプレクリニカル(無症状期)ADを対象とするAHEAD 3-45(フェーズⅢ試験)が日本、米国、欧州等において進行中です。
- 不眠症治療剤「デエビゴ」(一般名:レンボレキサント)
  - ・ 不眠症に係る適応で、日本、米国、アジア等において承認を取得しています。
  - ・ 不眠症に係る適応で、中国において承認申請中です。

- 抗てんかん剤「フィコンパ」(一般名:ペランパネル)
  - ・ 部分てんかん併用療法に係る適応で、日本、欧州、中国、アジア等において承認を取得しています。日本、中国においては、単剤療法の承認も取得しています。
  - ・ 全般てんかんの強直間代発作に対する併用療法に係る適応で、日本、欧州、アジア等において承認を取得しています。2024年4月、中国において、「12歳以上のてんかんの強直間代発作に対する併用療法」の適応拡大に関する承認を取得しました。

[主な提携]

- 2024年6月、当社の連結子会社EAファーマ株式会社(東京都)は、新規炎症性腸疾患治療薬(開発品コード「EA1080」)およびその周辺化合物について、Ensho Therapeutics, Inc.(米国)に対して、日本および中国、香港、マカオ、韓国、台湾、ASEANを除く全世界における独占的な開発・製造および販売権を付与するライセンス契約を締結しました。
- 2024年6月、抗体薬物複合体farletuzumab ecteribulinに関して、BMS社とのグローバルな共同開発・共同販促契約を終結し、当社単独でのグローバル開発・商業化に移行しました。
- 2024年7月、抗真菌剤ホスラブコナゾールについて、真菌性疾患(マイセトーマおよびその関連疾患は除く)に対するASEAN10カ国、オーストラリア、ニュージーランド、韓国、台湾における開発および商業化に関するライセンス契約を佐藤製薬株式会社(東京都)と締結しました。
- 2024年7月、エコナビスタ株式会社(東京都)と、認知症エコシステムの構築をめざして、業務提携契約を締結しました。本提携のもと、高齢者施設の入居者に対する認知機能の変化に対する気づきに向けた実証実験などを行います。

[その他]

- 2024年4月、当社の完全子会社である株式会社カン研究所(兵庫県)を当社へ吸収合併し、名称を神戸研究所に変更しました。
- 2024年4月、サウジアラビアにおける医薬品販売会社 Eisai Pharmaceuticals Single Person Limited Liability Companyを英国子会社 Eisai Europe Ltd.の完全子会社として設立しました。
- 2024年5月、今後の業績見通しと株主還元のバランス等を総合的に勘案し、中長期的なROEマネジメントを見据えて、300億円(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.3%)を上限とする自己株式の取得および取得株式の消却を取締役会にて決議しました。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明(2024年4月1日～2025年3月31日)

[連結業績予想]

○ 2024年5月15日に公表した連結業績予想から変更はありません。

	2023年度	2024年度予想	前期比
売上収益	7,418億円	<b>7,540億円</b>	101.7%
営業利益	534億円	<b>535億円</b>	100.2%
税引前当期利益	618億円	<b>600億円</b>	97.1%
当期利益	438億円	<b>445億円</b>	101.6%
親会社の所有者に帰属する当期利益	424億円	<b>430億円</b>	101.4%
基本的1株当たり当期利益	147円86銭	<b>152円50銭</b>	103.1%

(前提為替レート:1米ドル145.0円、1ユーロ155.0円、1英ポンド180.0円、1人民元20.4円)

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクや不確実性の詳細に関しては、当社の前期有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。ただし、当該記載は当社グループに係るすべてのリスクや不確実性を網羅したものではなく、現時点において予見できない、あるいは重要とみなされていない他の要因の影響を将来的に受ける可能性があります。また、当該記載は本発表日現在において判断したものであり、文中の将来に関する事項はその発生あるいは達成を保証するものではありません。



## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)
売上収益	189,029	196,935
売上原価	△39,757	△43,920
売上総利益	149,272	153,015
販売費及び一般管理費	△99,544	△86,083
研究開発費	△41,736	△41,147
その他の収益	5,534	642
その他の費用	△118	△400
営業利益	13,407	26,027
金融収益	3,277	2,788
金融費用	△715	△530
税引前四半期利益	15,969	28,285
法人所得税	△4,459	△7,385
四半期利益	11,510	20,901
四半期利益の帰属		
親会社所有者	10,581	20,339
非支配持分	929	561
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	36.95	70.92

## (2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	11,510	20,901
その他の包括利益		
損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	116	3,470
小計	116	3,470
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	40,856	43,889
キャッシュ・フロー・ヘッジ	142	163
小計	40,999	44,052
その他の包括利益合計	41,115	47,522
四半期包括利益	52,625	68,423
四半期包括利益の帰属		
親会社所有者	51,684	67,820
非支配持分	941	602

## (3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2024年6月30日)	前連結会計年度末 (2024年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	165,352	164,894
のれん	251,317	236,366
無形資産	82,971	85,493
その他の金融資産	59,620	57,674
その他	25,871	25,564
繰延税金資産	101,894	100,826
非流動資産合計	687,025	670,816
流動資産		
棚卸資産	190,601	174,651
営業債権及びその他の債権	205,355	217,208
その他の金融資産	947	445
その他	32,383	26,001
現金及び現金同等物	303,935	304,678
流動資産合計	733,222	722,983
資産合計	1,420,247	1,393,799

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2024年6月30日)	前連結会計年度末 (2024年3月31日)
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	44,986	44,986
資本剰余金	78,772	78,863
自己株式	△42,090	△33,612
利益剰余金	514,225	526,490
その他の資本の構成要素	299,873	258,886
親会社の所有者に帰属する持分合計	895,766	875,614
非支配持分	23,930	23,361
資本合計	919,696	898,975
<b>負債</b>		
非流動負債		
借入金	134,786	134,773
その他の金融負債	39,481	38,548
引当金	1,459	1,413
その他	13,006	14,915
繰延税金負債	801	704
非流動負債合計	189,533	190,352
流動負債		
借入金	47,548	24,632
営業債務及びその他の債務	77,798	72,249
その他の金融負債	16,608	34,250
未払法人所得税	6,051	8,718
引当金	30,463	31,195
その他	132,550	133,428
流動負債合計	311,018	304,472
負債合計	500,551	494,825
資本及び負債合計	1,420,247	1,393,799

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本 の構成要素
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測定 する金融資産
期首残高 (2024年4月1日)	44,986	78,863	△33,612	526,490	—
四半期利益	—	—	—	10,581	—
その他の包括利益合計	—	—	—	—	116
四半期包括利益	—	—	—	10,581	116
剰余金の配当	—	—	—	△22,963	—
自己株式の取得	—	—	△8,479	—	—
振替	—	—	—	116	△116
その他	—	△91	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△91	△8,479	△22,847	△116
期末残高 (2024年6月30日)	44,986	78,772	△42,090	514,225	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	その他の資本 の構成要素 合計				
期首残高 (2024年4月1日)	258,855	32	258,886	875,614	23,361	898,975
四半期利益	—	—	—	10,581	929	11,510
その他の包括利益合計	40,844	142	41,103	41,103	12	41,115
四半期包括利益	40,844	142	41,103	51,684	941	52,625
剰余金の配当	—	—	—	△22,963	△462	△23,425
自己株式の取得	—	—	—	△8,479	—	△8,479
振替	—	—	△116	—	—	—
その他	—	—	—	△91	91	—
所有者との取引額等合計	—	—	△116	△31,532	△371	△31,904
期末残高 (2024年6月30日)	299,699	174	299,873	895,766	23,930	919,696

前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本 の構成要素
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測定 する金融資産
期首残高 (2023年4月1日)	44,986	78,813	△33,638	522,774	—
四半期利益	—	—	—	20,339	—
その他の包括利益合計	—	—	—	—	3,471
四半期包括利益	—	—	—	20,339	3,471
剰余金の配当	—	—	—	△22,952	—
自己株式の取得	—	—	△8	—	—
自己株式の処分	—	25	24	—	—
振替	—	—	—	3,471	△3,471
所有者との取引額等合計	—	25	16	△19,481	△3,471
期末残高 (2023年6月30日)	44,986	78,838	△33,622	523,632	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	その他の資本 の構成要素 合計				
期首残高 (2023年4月1日)	186,988	37	187,024	799,959	22,612	822,571
四半期利益	—	—	—	20,339	561	20,901
その他の包括利益合計	43,848	163	47,481	47,481	41	47,522
四半期包括利益	43,848	163	47,481	67,820	602	68,423
剰余金の配当	—	—	—	△22,952	△421	△23,373
自己株式の取得	—	—	—	△8	—	△8
自己株式の処分	—	—	—	49	—	49
振替	—	—	△3,471	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△3,471	△22,911	△421	△23,332
期末残高 (2023年6月30日)	230,835	200	231,035	844,869	22,793	867,662

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	15,969	28,285
減価償却費及び償却費	10,062	9,756
減損損失	—	2,135
運転資本の増減額(△は増加)	△24,865	△22,346
利息及び配当金の受取額	2,878	2,195
利息の支払額	△604	△345
法人所得税の支払額	△6,063	△2,382
その他	△5,959	△4,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,581	12,641
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,595	△6,973
無形資産の取得による支出	△1,019	△1,594
有形固定資産・無形資産の売却による収入	9,489	16
共同支配企業に対する投資による支出	△260	—
金融資産の取得による支出	△1,143	△3,427
金融資産の売却・償還による収入	64	331
3カ月超預金の預入による支出	—	△1
3カ月超預金の払戻による収入	0	0
その他	48	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,584	△11,596
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	22,526	20,100
長期借入金の返済による支出	△2	△10,000
リース負債の返済による支出	△2,508	△2,238
自己株式の取得による支出	△8,479	△8
配当金の支払額	△22,963	△22,952
その他	△465	△363
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,890	△15,460
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,144	16,369
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△743	1,954
現金及び現金同等物の期首残高	304,678	267,350
現金及び現金同等物の期末残高	303,935	269,305

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当要約四半期連結財務諸表において適用する重要性のある会計方針は、以下の基準書及び解釈指針を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。当社グループが、当該基準書及び解釈指針を適用したことによる、当要約四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

基準書及び解釈指針	強制適用開始時期 (以降開始年度)	当社グループ 適用開始時期	概要
IAS第1号 財務諸表の表示	2024年1月1日	2025年3月期	負債の流動または非流動の分類を明確化
IFRS第16号 リース	2024年1月1日	2025年3月期	セール・アンド・リースバック取引におけるリース負債の会計処理の明確化
IAS第7号 キャッシュ・フロー計算書 IFRS第7号 金融商品：開示	2024年1月1日	2025年3月期	サプライヤー・ファイナンス契約に係る開示の改訂



(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、トップマネジメントが定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス(北米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)、アジア・ラテンアメリカ(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米等)の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。

なお、当連結会計年度より、経営の実態をより適切に表示するため、従来、研究開発費に含めていた各報告セグメントにおけるメディカル活動に伴う費用を各セグメントの利益に反映しています。前連結会計年度のセグメント情報は、当該変更を反映しています。

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)		前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	
	売上収益	セグメント利益	売上収益	セグメント利益
医薬品事業				
日本	52,807	19,134	64,453	22,342
アメリカス	69,799	41,209	54,343	33,929
中国	30,173	15,565	31,554	18,463
EMEA	19,499	8,819	18,663	8,755
アジア・ラテンアメリカ	14,273	6,476	12,705	5,657
報告セグメント計	186,551	91,202	181,718	89,147
その他事業(注1)	2,478	1,138	15,217	13,155
事業計	189,029	92,340	196,935	102,302
研究開発費(注2)	—	△36,531	—	△37,127
親会社の本社管理費等(注3)	—	△42,402	—	△39,148
要約四半期連結損益計算書の営業利益	—	13,407	—	26,027

(注1) その他事業は、親会社のライセンス収入及び医薬品原料などに係る事業です。

(注2) 研究開発費は、各報告セグメントに反映したメディカル活動に伴う費用を除いた研究開発費です。

(注3) 親会社の本社管理費等は、当社グループ全体の運営に係る費用等であり、その他の収益及び費用ならびにパートナーとの戦略的提携に伴う利益及び費用の折半金額を含めています。当第1四半期連結累計期間の親会社の本社管理費等には、当社グループがMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA(以下、「米メルク社」という。)に支払う抗がん剤「レンビマ」の折半利益38,355百万円(前第1四半期連結累計期間は32,312百万円)を含めています。

## (連結損益計算書)

## (1) 販売費及び一般管理費

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが米メルク社に支払う抗がん剤「レンビマ」の折半利益38,355百万円(前第1四半期連結累計期間は32,312百万円)を販売費及び一般管理費に計上しています。

## (2) 研究開発費

前第1四半期連結累計期間において、当社の米国連結子会社であるEisai Inc.において賃貸借契約を締結している旧本社の一部の研究施設の遊休化に伴い、当社グループは当該施設に係る使用権資産の回収可能価額をゼロとし、使用権資産に係る減損損失2,135百万円を研究開発費に計上しています。

## (3) その他の収益

当第1四半期連結累計期間において、当社は、抗体薬物複合体farletuzumab ecteribulin(開発コード：MORAb-202)に関するBristol Myers Squibb(以下、「BMS社」という。)とのグローバルな独占的戦略的提携契約の終結契約を締結しました。当該終結契約の締結に伴い、当社の将来の研究開発費としてBMS社から受領した預り金の未使用金額から返金額を控除した残額4,830百万円をその他の収益として計上しています。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。